自己評価結果公表シート

令和４年度
学校法人　東邦幼稚園

１. 本園の教育目標

「のびのびと、幼児一人ひとりの個性を伸ばしたい」という建学の精神のもとに「一人ひとりが自ら活動し、恵まれた環境を通じて感性豊かな子ども、心身ともに元気で、生きる力を持つ子どもになって欲しい」というねらいで、義務教育就学に向けて、基本的生活習慣の育成や定着を図るとともに、年齢や発達に応じた遊びを通して楽しく無理なく可能性を引き出す。

２. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

令和4年度はコロナ禍からの出口が見えかけた中、少しずつ従来の幼稚園生活を取り戻しつつあったが、「従来どおり」の実施が本当に良いものか見直す機会となったため、新たな視点での子どもの体験や学びをどう保証するのか？子どもの育ちを保護者にどう伝えるか？を意図した計画をもとに実行に移した。
また、施設給付型施設として、安定した経営のための課題を見定め今後の計画を策定する。

３. 評価項目の達成及び取組み状況

評　価　項　目	取　組　み　状　況
感染症対策について	「密」を可能な限り避けるため、給食は対面を避け机の台数を増やし、黙食を心がけた。保育時間中は運動遊び時を除いて原則マスク着用。こまめな手洗いうがいの実施。歯磨きの中止などの感染症対策を徹底し、園児には就寝前の歯磨きの重要性を指導した。 新型コロナウイルス感染症の5類への移行を見据えた基準の緩和を踏まえながら徐々に従来の環境への整備にむけた対策を講じた。
保育内容について	コロナ禍からの出口が見えかけた中、少しずつ従来の幼稚園生活を取り戻しつつあったが、「従来どおり」の実施が本当に良いものか見直す機会となったため、新たな視点での子どもの体験や学びをどう保証するのか？子どもの育ちを保護者にどう伝えるか？を意図した計画をもとに実行に移した。 行事については、依然として事前申込制で人数制限を行い、宿泊保育はデイキャンプに切り替えるなど教職員がアイデアを出し合い工夫を凝らして、子どもの体験・学びを保障することができた。
経営改善のための職員の処遇について	次年度に向けて、給与体系及び勤務時間の見直しを図り、教職員に周知を行った。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

「従来どおり」の実施が本当に良いものか見直す機会となったため、新たな視点での子どもの体験や学びをどう保証するのか？子どもの育ちを保護者にどう伝えるか？を意図することができた。
経営改善については、当年度はなんとか黒字化できたが、コロナ禍とともに出生率の絶対数が激減したため中期経営計画は検討すべきである。

5. 今後取り組むべき課題

課　　題	具体的な取組み方法
環境整備について	一番新しい新館も築25年を超え、トイレ改修はしたものの躯体の点検が必要である。 また、総合遊具も一部修理を予定しており、効果的な環境整備を進める。
経営改善のための取り組み	引き続き、職員処遇の改定を行い、新規職員の確保や園児募集に努め経営の安定を図る。
教育・保育課程について	コロナ禍での成育歴から、子どもの体験や環境、学びの形が大きく変化している中で、新たな視点で教育・保育課程を見直す。

6. 学校関係者の評価

※別紙のとおり

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。